

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	令和7年1月24日		～ 令和7年2月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年1月30日		～ 令和7年2月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○訪問先施設評価実施期間	令和7年1月30日		～ 令和7年2月21日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象者数)	1	(回答者数) 1
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月13日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者や保育園の希望に沿った計画書の作成と説明	計画書を作成するにあたり、保護者の希望ならびに保育園の意向を丁寧に確認し、アセスメントを行っている。	支援内容に応じて必要となる職種の支援員と連携を図りながら、適切な支援が行えるよう、計画の段階から丁寧にやっていく。
2	医師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理士など、様々な分野の職種の支援員がおり、ニーズに合わせた支援員と共に訪問し、支援にあたる事ができている。	ニーズに合わせた支援員と訪問し、訪問先施設で実際に話を聞き、場面観察をしながら、適切かつ具体的なアドバイスを行っている。	適切な支援が行えるよう、計画の段階から各支援員と連携を図りながら、丁寧に情報共有していく。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	センター内で保育所等訪問支援が必要な利用者を適切に事業につなぐことができていない可能性	事業開始までのプロセスが明確でなく、他部門が事業の必要性を把握した利用者をどのように繋げたらよいか分からない。	まずは通園(児童発達支援)利用児で通園から保育園や幼稚園に移行する親子が不安にならないよう、移行支援として、事業の案内をする。 事業開始までのプロセスを明確化し、他部門に案内できるようにする。
2	訪問にあたっての人員と人材の確保	支援の必要性に応じた支援員を確保し、日程調整するのに苦慮しているため、訪問の回数が制限されている。	支援員の日程調整の工夫をしていく。また、人材育成のための外部研修などの機会が必要である。
3	プライバシーへの配慮	プライバシーに配慮された面談室は個室で用意されているが、面談室の場所が離れており、時間の制約もあり、報告やご家族からのご相談の際に、プライバシーの配慮に欠ける対応があった。	今後は面談室の使用を徹底する。面談室が使えない場合や時間の制約がある場合は、保護者の方にきちんと確認し、ご了承を得てから、対応するようにする。